

令和6年度 学校経営基本方針

1 学校教育目標

- 生き生きと活躍する児童の育成をめざして 「かしこく やさしく 元気な子」
・合言葉 ～思いやり 笑顔の花咲く 諸川小～

2 学校経営方針

- (1) 児童の夢をはぐくみ、未来社会を切り拓く力を育てるため、児童一人一人を大切にし、よさを認め・生かし・伸ばす教育活動を展開する学校づくりに努める。
- (2) 教職員一人一人の資質・能力を高め、チーム学校で取り組む教職員集団の育成に努める。
- (3) 家庭・地域と連携して、いじめのない安全安心な学校づくりに努める。

3 校内研究課題

「教師と児童との信頼関係及び児童相互のよりよい人間関係づくりのあり方」
～教育相談、考え議論する道德、GWT の実践を通して～

4 組織目標

日々の教育相談を通して、かしこく、やさしく、元気な子を育てる。

5 学校経営の重点

- (1) 児童一人一人を大切にし、よさを認め・生かし・伸ばす教育活動を展開する学校づくりに努める。
 - ・児童の夢、目標（学習・生活）好きなことなど一人一人の実態を把握し、保護者の願い、担任の思いから一人一人の夢（目標）の実現、個性の伸長を図るために個を生かす学級経営をする。
- (2) 安全・安心な学校づくりを進める。
 - ・新型コロナウイルス感染症等の対策を行い、安全・安心な学校づくりを進める。
 - ・家庭・地域・学校の三者でいじめに対して共通理解、共通実践を通して、地域ぐるみでいじめのない安心安全な学校づくりをする。
- (3) 教員のパフォーマンス向上のための働き方改革を推進する。
 - ・職員の健康を維持し、家族と過ごす（プライベート）時間を大切ににする。
（超過勤務 月45時間以内）
 - ・教材研究の時間や子どもと向き合う時間を創る。
- (4) 「かしこく（知）」、「やさしく（徳）」「元気の子（体）」を具現化する。
- (5) 社会に開かれた教育課程・開かれた学校づくりを推進する。
 - ・家庭・地域・学校の三者でいじめに対して共通理解、共通実践を通して、地域ぐるみでいじめのない安心安全な学校づくりをする。
 - ・外部人材を活用した教育活動を展開する。
- (6) 教職員の資質向上を図る。
 - ・教師自身が教育に夢をもち、夢を語り、常に研修と研鑽に努め、教師としての自己実現を図る学校づくりに努める。
 - ・OJTを基にした研修の日常化を目指す。
- (7) 特別な教育的配慮を要する児童への対応
 - ・保護者と連携し、チームで対応する。
- (8) SDGsを取り入れたESDの視点に立った教育活動を推進する。
 - ・本校キャラクター「もったいないンジャー」の活動を支援する。
- (9) 整備されたきれいな環境づくりを推進する。
 - ・人権教育の日常化を目指す。
- (10) コンプライアンスの遵守に努め、不祥事を撲滅する。
 - ・教育への信頼を構築するため、不祥事を撲滅する。

6 主な努力事項と具体的施策

主な努力事項	具体的施策
(1)児童一人一人を大切にし、よさを認	・児童の夢、目標（学習・生活）好きなことなど一人一人

<p>め・生かし・伸ばす教育活動を展開する学校づくりに努める。</p>	<p>の実態を把握し、保護者の願い、担任の思いから一人一人の夢（目標）の実現、個性の伸長を図るために個を生かす学級経営を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談週間を年2回設定し、個に応じた指導に生かす。 ・教育相談研修の実施及びチーム支援の確立をする。
<p>(2)安全・安心な学校づくりを進める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を進め、感染症の未然防止に努める。 ・日常のよびかけや指導、避難訓練等を通して、危険予知能力や危機回避能力を育成する。 ・学校と保護者、地域等と連携し、安全・安心な学校づくりを進める。（交通事故の未然防止、自然災害への備え、不審者対応等） ・研究組織を生かし、いじめの未然防止に努める。
<p>(3)教員のパフォーマンス向上のための働き方改革を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一か月の超過勤務を45時間以内に収める。 ・パフォーマンス向上のためのミニ研修会を開催し、情報交換を行い実践する態度を養う。
<p>(4-1)「かしこく」[知] ○ 自ら進んで学習に取り組み、自分の考えをはっきりいえる子を育む</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個別最適な学びと協働的な学びを継続することで、基礎学力を高め、思考力、判断力、表現力を高める。 ・教育課程編成を工夫し、少人数指導や個に応じた指導、外部指導者による体験活動等を行う。 ・授業進度とリンクした家庭学習を勧め、自ら学ぶ意欲を高める。 ・「1ページの絵本」や「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」等を通して、読書への意欲を高める。
<p>(4-2)「やさしく」[徳] ○ やさしく思いやりがあり、なかよく生活できる子を育む</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育の日常化を目指し、自分を大切にする心と他人を大切にする心を養う。 ・「特別の教科 道徳」の実践と教育活動全体を通じた道徳教育を進め、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 ・特別活動や特色ある教育活動（SDGsへの取組や草花栽培等）を通して、自主的、実践的な態度を育成する。
<p>(4-3)「元気な子」[体] ○ 元気にあいさつができ、体力づくりに勤しむ子を育む</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業や体育的行事を工夫したり、運動に親しむ場の充実を図ったりして、健やかな体の育成を図る。 ・保健指導、安全指導を進め、定期的及び抜き打ちの避難訓練を実施し、自ら命を守る行動がとれるような判断力を育成する。
<p>(5)社会に開かれた教育課程・開かれた学校づくりを推進する。[連携]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等を通して、積極的な情報発信に努める。 ・保幼小、小中、小小等、連携を進める。 ・予想困難で多様性の時代を生き抜く子どもたちを育成するため、外部人材を活用し体験活動を行う。また、教科等横断的なSTEAM教育を推進し、アントレプレナーシップを育てる。 ・コミュニティスクールを核として地域との連携を深める。
<p>(6)教職員の資質向上を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマに沿った研修を進める。 ・ICTを効果的に取り入れた授業づくりについて、研修を継続する。 ・OJTを進め、若手教員の育成を図る。 ・教員評価を通して、教師としての自覚と実践的な指導力を身に付ける。
<p>(7) 特別な教育的配慮を要する児童に対応する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と連携して「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」の作成し、活用する。 ・特別支援学級担任、交流学級担任、養護教諭等と情報交換を密に行い、個に応じた指導に生かす。
<p>(8) SDGsを取り入れESDの視点に立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「もったいないインジャー」の活動を支援する。

<p>った教育活動を実践する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルキャップ等の回収を行う。
<p>(9) “環境が人を育てる”ということを念頭に置き、整備されたきれいな環境づくりを進める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人的環境；人権教育の日常化を目指し、人の心の痛みが理解できるような心を育む。 ・物的環境；SDGsの活動を踏まえ、ものを大切に扱う心を育む。(整理整頓) ・言語環境；「ほめ言葉のシャワー」等グループエンカウンターやグループワークを通して、自己有用感を育む。
<p>(10) コンプライアンスの遵守に努め、不祥事の撲滅に努める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に対する信頼関係を構築するために研修を重ね、不祥事を撲滅する。 ・コンプライアンス標語づくりを行い、日めくりカレンダーを作成・活用することで、コンプライアンス意識の高揚を図る。

*数字や順番は優先順位を示すものではありません。

7 本校の特色ある教育活動

- 「もったいない運動」の継続，推進
 - ・もったいない推進キャラクター「もたないんジャー」の活動を支援する。
- 豊かな心を育む栽培活動 … 四季折々の草花栽培を行い，豊かな心を育む一助とする。

8 危機管理

- さ・し・す・せ・そ
 - ・最悪を考えて・慎重に・素早く・誠意をもって・組織で対応する。

9 信頼される教職員であるために

- 接遇（電話対応，表情，態度，挨拶，身だしなみ，言葉遣い etc.）に努める。